



フレンズ

2017年度 総会

フレンズ20周年に向けて

2017年4月8日、長久手交流プラザで第19回総会を開催されました。

今年の総会は文化の家の改修工事のため、文化の家光のホールではなく、長久手交流プラザでの開催となりました。

まず議長選出の後、2016年度活動報告・会計報告、2017年度活動計画・予算案を審議し、いずれも承認され、新年度の役員の紹介があり閉会しました。



その後新しく就任された加藤正純館長から「これからまのご活躍やご支援が

必要になってきますので、よろしくお願いします」とあいさつがありました。加藤館長は市のくらし文化部の部長を兼任されています。続いて靫山事務局長より4月から文化の家に配属された職員を紹介がありました。

(2面に関連記事)

総会のあとに茶話会

総会の場ではなかなか意見が言いにくいのではと、桜餅とお茶を用意し茶話会が開かれました。

4つのテーブルに分かれて、文化の家の催し物の希望やフレンズの活動などについて、ざっくばらんな意見交換を行いました。

みなさんのご意見から

★再演希望

- ・フォレスタをもう一度。
- ・うたごえ音楽会で歌いたい。
- ・創作ダンスやゴスペルなど良かったので参加型を増やして。
- ・児童劇を夏休みと冬休みに公演するなど、増やしてほしい。

★新しい企画

- ・チケットは多少高くても親しみやすいクラシックの公演を。
- ・朗読と音楽など異種のコラボレーション企画も面白い。
- ・谷村新司さんの「ココロの学校」の公演を希望。



★フレンズスタッフの活動
・スタッフ全員の意見交換会を。
・シアターマネージメントをしっかりと教わりたい。そのときは文化

の家の職員も参加されてはどうか。
・パソコンの講習会をしてほしい。
などの希望が出されました。

改修後の企画に期待

みなさんから、改修後には、今までになかった新しい催し物や市民参加型の催し物など、楽しい企画を期待する声がたくさんあがりました。また、もっと文化の家の敷居を低くし、多くの人に来てもらいたいという、文化の家の発展を願う具体的な案もいくつか提案されました。これらの貴重なご意見は、文化の家とフレンズがお互いに協力しあって、少しずつ実現に向かっていくための、これからの活動の大切な参考資料とさせていただきます。

2017年度フレンズ役員

会長	水野美々子
副会長	石田由利子 (事業部部長)
副会長	須田千賀子
会計	浅田悠紀
事務局長	山口節子
監事	田宮なおみ
監事	星合ちひろ(文化の家職員)
部長	鈴木多恵子(当日運営部)
部長	酒井光恵(機関紙部)
部長	福岡八重子(研修部)
部長	牧野洋子(マニュアル部)

～文化の家に新しい風を～

◆文化の家館長 加藤正純さんのごあいさつ◆

文化の家は住まいに近いことから、開館当時から家族それぞれ、いろいろな利用をしていました。言わば第2の家のような存在です。

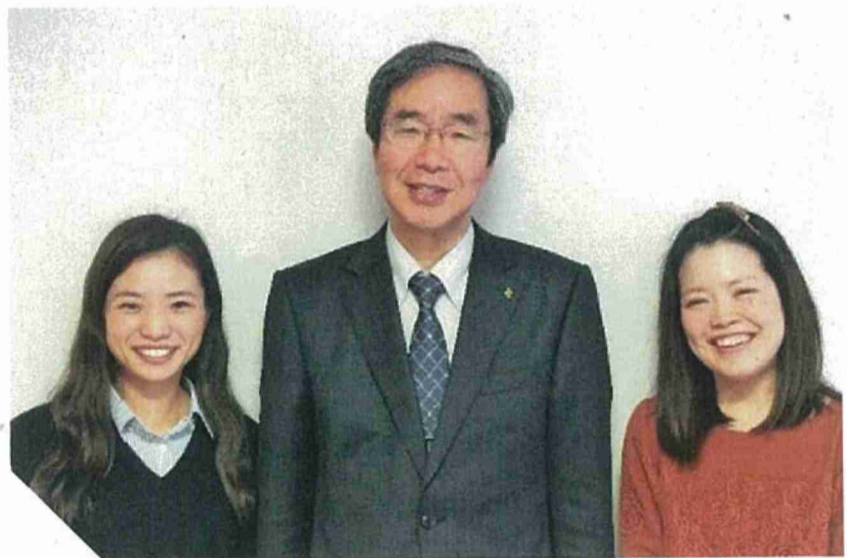
平成26年には、倉本聰氏の講演会が開催されたことにとっても感動したことを鮮明に覚えています。ここで得られる様々な感動を長久手市民の皆様や文化の家に関わるすべての人に、ぜひ感じていただきたいと思えます。

昭和36年生まれ
趣味 スポーツ、特に野球(長久手少年野球クラブの指導をしています)。
ほかには海釣りも。
好きな人物 倉本聰、高倉健、坂本龍馬

◆新しく文化の家に配属された職員の皆さん◆

1. 好きな食べ物は？
2. 休みの日の過ごし方は？
3. 生まれ月の星座は？

堅苦しいあいさつは抜きにして、素顔を知っていただくために簡単な質問をご用意しました。



よろしくお願ひします

文化の家に就任された方々と会員は、ともに盛り立てていきましょう。気軽に声をかけあい

こもだ
菰田 祐実さん

事業係

- 1 カレー
- 2 創作ダンス
- 3 さそり座

めのかわ
布川 一重さん

主幹

- 1 お寿司
- 2 街歩き
- 3 ふたご座

やお
八尾 由衣さん

事業係

- 1 オムライス
- 2 めり絵
- 3 おうし座

機関紙部では、新入部員募集中です！

経験者・未経験者は
問いません

機関紙部は、公演こぼれ話や長久手の季節の便りなど、楽しんで読める紙面づくりを目指しています。部員として活動するにあたっては、書くことが好きな方、パソコンをお持ちの方、隔週金曜日の参加ができる方をお願いしています。

入部を考えている
みなさんへ

また未経験者の方にも楽しく活動ができるよう、最初は短い記事を書いていただいたり、希望する方にはパソコン練習のフォローもいたします。見学のみでも構いません。一度お試しに発行を経験されてみてはいかがでしょうか。

編集会議

- ◆原則第1第3金曜日 10:00～12:00
- ◆場所 文化の家

お問い合わせ・お申し込み

- ◆文化の家
TEL 0561(61)3411

ご連絡をお待ちしています！

モノづくりの楽しさを味わえます。仕上がったときの喜びはひとしおです。

少し前の話になりますが、昨年11月20日 商工会・長久手めぐり研究会主催の「上郷三社・三寺めぐり」に参加してきました。福祉の家に集合し、熊野社・永見寺・宗延寺・神明社・多度社・前熊寺をめぐる長久手東部の歴史散歩です。名東区から長久手に移り住み、未来形の長久手しか見てこなかった私にとってはタイムマシンに乗った気分のままにわくわくの小さな旅となりました。



宗延寺
紅葉と落ち葉

大草・北熊・前熊の三つの村が明治39年に長久手村と合併し今の長久手市がありますが、この東部地域は細い路地の中にいまだに古い家屋が残りつつも、都会から戻ってきた新しい世代の住居も混在する不思議な風を感じる地域です。

熊野社と隣り合わせの永見寺には、戦争から亡骸となって戻ってきた方々が故郷を見下ろせるよう高台にお墓が連なっていて、同じ目線で佇んでみると当時の方々の

故郷への想いがよみがえり、胸にこみあげるものがありました。

紅葉と落ち葉の絨毯

少し歩いた先に見えてきた宗延寺の境内はそれは見事な紅葉で、入口は銀杏の落ち葉の絨毯。遠くまで紅葉狩りに行かなくても市内にこんなすてきな場所があるなんて！とメンバーで感激。そして、ここからしばらく下って畦道を通ると曲がりくねった細い路地に入っていきます。新旧の家屋を楽しみながら歩いていくと一角に小さな常夜灯が目にとまりました。

常夜灯をともし風習

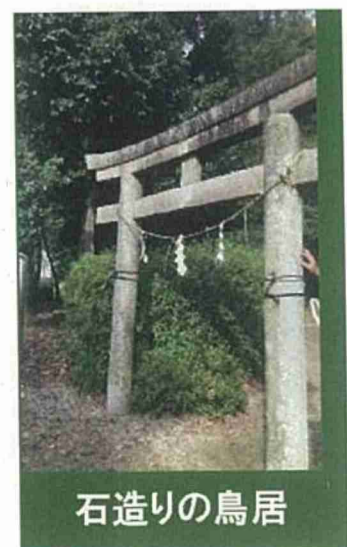
この常夜灯は、建立当時から現在まで当番を決めて毎晩灯籠に火をともしているそうです。

地域コミュニティの維持復活の手段として、「火の用心」や「家内安全」の気持ちを込めて代々伝えられた風習が残っているんですね。

常夜灯の古さに住民の皆さんのチームワークを感じながら歩いてきた先に、大きな建築中のIKEAが現れました。今年10月オープンに向け急ピッチで進む工事の陰で失っているものもあるようで、貴重なメダカが姿を見せなくなったこともどうやら工事の影響があるらしく残念なことです。

未来にはばかり目を向けている私たちに警鐘をならしているのではないかしら、と考えながらたどり着いた多度社には1661年に建立された石造りの鳥居があり、毎年7月第2日曜日に、たくさんの提灯をかざした市内で唯一の山車が

引き出され夕刻から「天王まつり」が開催されます。



石造りの鳥居

豊かな文化を育む

最後の前熊寺を後にして、リニモ「公園西」駅付近から整備されている香流川左岸の緑道を歩いてゴールのござらっせに着きました。

この緑道は春には桜やユキヤナギ、夏には蛍、冬には鴨などが見られ、歩いているとさまざまな花々が心を和ませてくれます。

便利さにはばかり注目されつつある長久手ですが、こんなに豊かな文化を育んできた土地であること、を次の世代まできちんと伝えて守っていく必要があると実感した、気分は「Discover Nagakute!」のおさんぽ旅でした。

おすすめ公演!

文化の家寺嶋佳奈さんのチェックポイント

長久手市文化の家リニューアル記念公演

川上ミネ ピアノ&トークコンサート with サンドウィッチマン



もともとサンドウィッチマンの大ファンだった川上ミネさんは2014年に最初の共演が実現。ピアノ演奏あり歌あり踊りありの上演は好評でNHKで特番になりました。

マドリード国立音楽大学院を卒業後は中南米を放浪して武者修行のごとく自らを磨き、無国籍無ジャンルの音楽にも傾倒していきます。一方サンドウィッチマンは東日本大震災後の復興支援活動で今でも人々に笑いで元気を届けています。そんな3人がミネさんの故郷長久手で再び夢のコラボ。どんなステージになるか今から“ワクワクドキドキ”。長久手市文化の家リニューアル記念公演をお楽しみに!

7月9日(日) 15:00 森のホール
前売・当日: 一般5,000円 小・中学生1,000円
フレンズ会員3,900円(前売のみ) ※全席指定

劇王 XI ~アジア大会~



2013年の10回を記念した天下統一大会を区切りに休止となっていた「劇王」が2017年9月に復活します。全国9地区で勝ち上がった各地区代表と現・劇王に加え、韓国、香港、シンガポールからも参戦が決定。ご期待ください!

9月15日(金) ~ 17日(日) 風のホールほか
※開演時間などは今後公式ホームページで随時発表



ひとりごと

うちの若いほうの猫は、年寄の猫が病気のせいでワーワー鳴いてはご飯をもらっているのを見て学習したらしく、今まで鳴かなかったのにミーミー鳴くようになった。お利口さんとも言えるが、夜中にやられるのがつらい。 (み)

【関連企画】

「ベニシアさんの四季の庭」上映会



写真 梶山正

多くの人を魅了するイギリス人女性ベニシア・スタンリー・スミスさんの半生を描くドキュメンタリー。

おたのしみ ①

上映会鑑賞後、聴いたばかりの曲を生演奏で! 川上ミネさんのピアノ&トークショーがあります。

おたのしみ ②

ベニシアさんと共同で作った長久手オリジナルハーブティーでティーパーティー。

フレンズ会員限定

お得なセット券あります!

4,500円
(前売のみ)

7月1日(土)
13:30
森のホール
前売・当日
一般1,500円
フレンズ会員
1,000円
(前売のみ)

ほっとおペース

女城主に会いに!

長久手市 T.K



岩村城跡

今年の大河ドラマの影響か、女城主に興味が高まりました。直虎は実は男では? という説もあるようですが、同じ時代の岐阜県岩村には、織田信長の叔母おつや(別名お直)という正真正銘の女城主がいました。直虎は今川と織田、おつやは武田と織田の勢力争いに翻弄され、御家存続のため得心のいかない生き方を強要されました。男性の治める強国に踏みにじられる内にも、女性ながら善政を敷き、

今年の大老の井伊家へつなぎ、一方おつやは領民を守り信長に処刑されました。最期に自身を貫いた強さに惹かれながらも哀愁を感じます。先日岩村を訪ねてみました。今でもおつやは、領民思いの城主と慕われ、城下の小間物屋の奥さんはおつやの事を愛おしそうに語ってくれました。今もなお、おつやが人々を見守り、時に置いて行かれた様なひっそりとした城下町でした。